

# 【JGFAアンケートの集計結果発表】(大阪分・2012年2月)

JGFAでは、2012年2月3-5日に開催された「大阪フィッシングショー」および同年3月23-25日に開催された「横浜フィッシングショー」でJGFAに関するアンケートを実施いたしました。これは、【JGFA】という団体とその事業がどの程度釣り人の間に理解されているのかを探るために行われたものです。

まとめ:JGFA

●アンケート回収総数：390件  
(2/4-5の2日間・JGFAブースに来た人を対象)

●アンケート内容:別紙にて質問内容を示します。

## 【結果】

【設問1】JGFAを知っていましたか

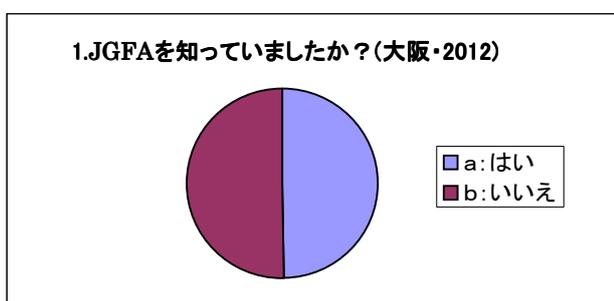
a：はい

49.7% (194件/390件)

b：いいえ

50.3% (194件/390件)

★JGFAを「知っている」と答えた人が5割だった。(横浜:同6割)



【設問2】JGFAのホームページを見たことがありますか？

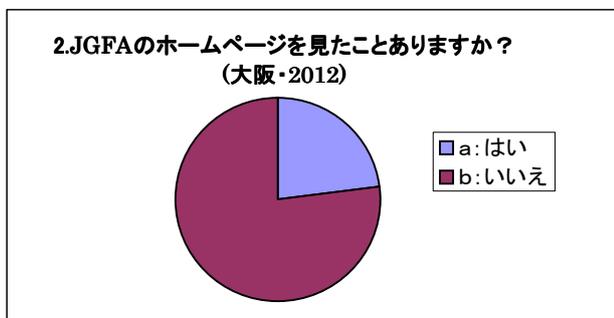
a：はい

23.1% (89件/385件)

b：いいえ

76.9% (296件/385件)

★JGFAのホームページを見たことのある人は、2.3割。(横浜:同3.3割)



【設問3】JGFAが【キャッチ&リリース】を提唱しているのを知っていますか？

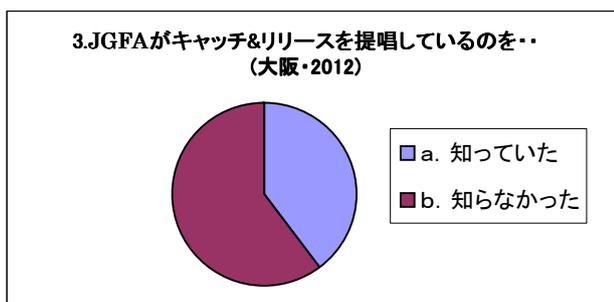
a. 知っていた

39.7% (155件/390件)

b. 知らなかった

60.3% (235件/390件)

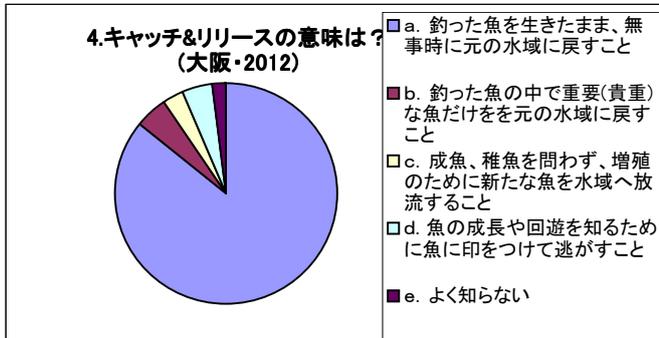
★JGFAがキャッチ&リリースを提唱しているのを知っていた人は、4割。(横浜:同5割)



【設問4】【キャッチ&リリース】とはどのような意味か、ご存知ですか？

- a. 釣った魚を生きたまま、無事時に元の水域に戻すこと 85.8% (357件/416件)
- b. 釣った魚の中で重要(貴重)な魚だけを元の水域に戻すこと 4.6% (19件/416件)
- c. 成魚、稚魚を問わず、増殖のために新たな魚を水域へ放流すること 3.1% (13件/416件)
- d. 魚の成長や回遊を知るために魚に印をつけて逃がすこと 4.6% (19件/416件)
- e. よく知らない 1.9% (8件/416件)

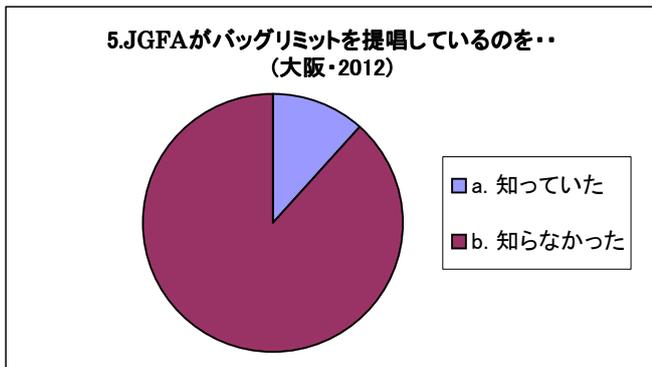
★正解は【a】。キャッチ&リリースの意味を知っている人は8.5割と大多数の人が知っていた。(横浜:同8割)



【設問5】JGFAが【バッグリミット】を提唱していることを知っていますか？

- a. 知っていた 11.8% (46件/390件)
- b. 知らなかった 88.2% (344件/390件)

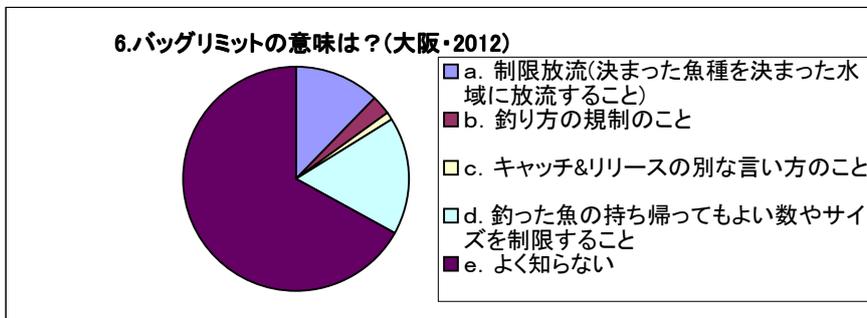
★JGFAがバッグリミットを提唱していることを知っていた人は、わずか1割。(横浜:同2割弱)



【設問6】【バッグリミット】とはどのような意味か、ご存知ですか？

- a. 制限放流(決まった魚種を決まった水域に放流すること) 12.2% (46件/376件)
- b. 釣り方の規制のこと 2.7% (10件/376件)
- c. キャッチ&リリースの別な言い方のこと 1.3% (5件/376件)
- d. 釣った魚の持ち帰ってもよい数やサイズを制限すること 16.8% (63件/376件)
- e. よく知らない 67.0% (252件/376件)

★正解は【d】。バッグリミットの意味を正しく知っている人は1.7割と少ない。残り8.3割が知らないことになる。(横浜:正しく知っている・が1.9割、残り8.1割が正しい意味を知らない)



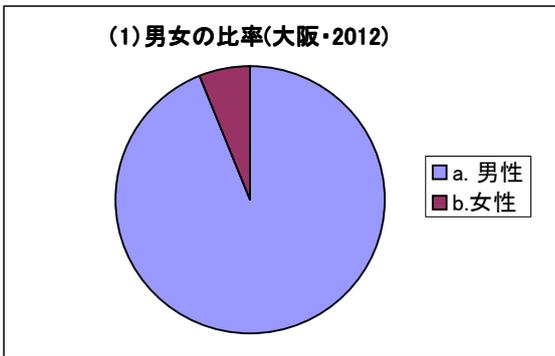
**【今回のアンケート結果(大阪分) のまとめ】**

- (1)JGFAの認知度:アンケートに答えたうち、半数の人がJGFAを知っていると回答。(横浜:同6割)
- (2)JGFAのホームページを見たことがあるとしたのは、2.3割。(横浜:同3.3割)
- (3)「JGFAがキャッチ&リリースを提唱していることを知っていた」としたのは4割。(横浜:同5割)
- (4)キャッチ&リリースの意味を知っている人は8.5割と大多数の人が知っていた。(横浜:同8割)
- (5)JGFAがバグリミットを提唱していることを知っていた人は、わずか1割。(横浜:同2割弱)
- (6)バグリミットの意味を正しく知っている人は1.7割と少ない。残り8.3割が知らないことになる。  
(横浜:正しく知っている・が1.9割、残り8.1割が正しい意味を知らない)  
(2009年大阪:1.5割と同程度であった。つまり、2009年時点とほとんど変わらない結果となった。)

**【参考(大阪・2012)】**

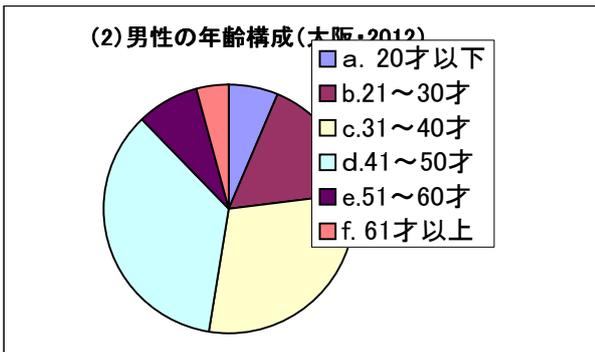
**(1)男女比**

- a. 男性 93.80% 363人/387人
  - b.女性 6.20% 24人/387人
- ★男性が9.4割と圧倒的に多かった。(横浜:男性9割)



**(2)男性の年齢構成**

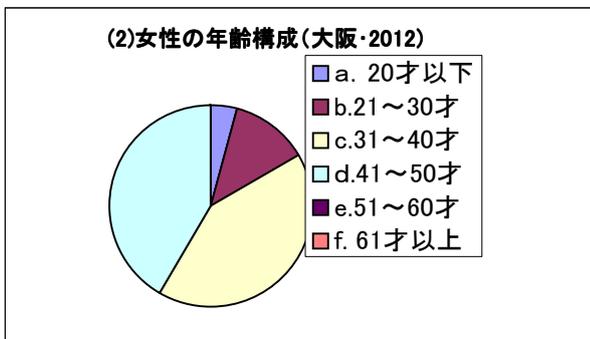
- a. 20才以下 6.4% (25人/363人)
  - b.21～30才 16.5% (60人/363人)
  - c.31～40才 29.0% (107人/363人)
  - d.41～50才 35.0% (129人/363人)
  - e.51～60才 8.1% (30人/363人)
  - f. 61才以上 4.1% (15人/363人)
- ★30～40才で6.4割を占め、20才以下(青少年)が6.4%と少ない。(横浜:20才以下1割、50才以上も2割以上)



**(2)女性の年齢構成**

a. 20才以下	4.2% (1人/24人)
b.21～30才	12.5% (3人/24人)
c.31～40才	41.7% (10人/24人)
d.41～50才	41.7% (10人/24人)
e.51～60才	0.0% (0人/24人)
f. 61才以上	0.0% (0人/24人)

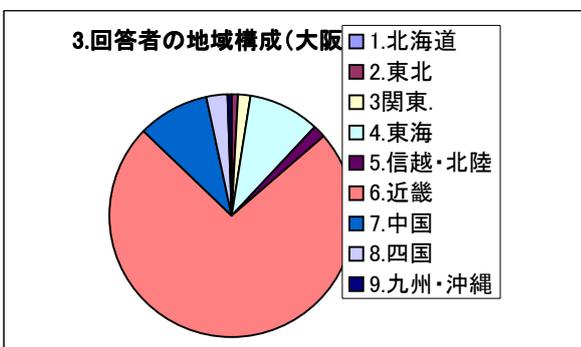
★男性同様、30～40才台で8.3割を占め、20才以下(青少年)が4.2%と少ない。(横浜:20才台1.7割、20才以下でも1.3割)



**(3)回答者の地域構成**

1.北海道	0%
2.東北	0.70%
3.関東	1.70%
4.東海	9.20%
5.信越・北陸	1.70%
6.近畿	72.30%
7.中国	9.00%
8.四国	2.90%
9.九州・沖縄	0.50%

★近畿が7.2割と圧倒的なのはわかるが、四国が2.9%と非常に少ない。(横浜:関東だけで8.6割を占め、他地域では東海の4.7%が多いほう。)



**参考(大阪2009年の総評)**

- バググリミットという言葉は、8.4割の釣り人が知らない。フィッシングショーには都会の釣り人が多く、しかも、釣りに関心のある人が多いと思われるので、実際はバググリミットという言葉を知っている人の割合はさらに低くなるだろう。
- バググリミットという言葉の意味を知っていると答えた人でも、本当の意味がわかっているのは1.5割に過ぎず、「バッグ(袋)」を「バック(もどす)」と勘違いしている人:1割強、「バググリミットに達したらその日はもう釣りをやめなければいけない」と勘違いしている人が7割に達していた。
- 「JGFAがバググリミットを提唱している」ことを「知っている」と答えたのは、この言葉を知っているという人でも4.5割。全体では、3割の人が「JGFAが提唱している」と答えているが、多くはこのアンケートではじめて知ったというのが本当のところだろう。
- 「日本の海釣りにはバググリミットの制度がないという現状をどう思うか」については、この言葉を知っている、知らないにかかわらず、「将来はバググリミットが必要」と回答した人は9割を超えた。
- 「バググリミットがないままだと10年後はますます釣れなくなる。どうしたらいい?」の問いに対しては、「釣れなくなったらいやだから、9割弱の人が「バググリミットを实践する」と回答した。
- 日本の海釣り釣魚(ゲームフィッシュ)の資源を確保するためにはどんな施策が必要かという問いに、「バググリミット」を1位にあげた人は、4～5割であった。2番目は禁漁期で2～3割、3番目が稚魚放流で2割弱、4番目が

禁漁区で1割前後となった。